

# 岩手県職労

月2回刊=1688号  
2026年1月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジロー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

## 12・16 達増知事との意見交換

# 何より職員の健康が第一

12月16日、県職労は「職員の働き方への評価とメッセージ」をテーマに、安心して働き続けられる労働環境整備、職員の積極的なコミュニケーションを主なテーマに、達増知事と意見交換を行った。達増知事は「県職労は勤務労働条件の向上に取り組み、働く人の視点で課題の抽出に寄与しており、なくてはならない」と述べ、今後も継続的に意見交換することを確認した。



▲達増知事との意見交換に臨む県職労役員と自治労県本部役員（手前）



▲達増知事と握手を交わす小田嶋中央執行委員長（右）

【県職労】まずは、日々、県政運営の推進に職場段階で業務に励む職員の働きに對して、知事の評価と、職員が元気をいただけるようなメッセージをいただけることを望んでいる。

【知事】日頃から県民計画の推進、大規模災害からの復興に尽力していることに感謝する。昨年度は豚熱や鳥インフルエンザの家畜伝染病防疫等作業、大船渡市の林野火災があり、大変だったと思う。今年度中盤以降は、ツキノワグマの被害

【県職労】昨年、現場の率直な声をお伝えしたところだが、労働組合の立場として、現場の声を知事に伝えることが私たちの運動の一丁目一番地。今年も同様に聞いてほしい。

女性も男性も育児休業を取得できる実態が拡大していることは喜ばしいが、「代替職員の確保が確約されるかどうか不安」といった声が依然として多い。

また、気象災害や家畜伝染病対応等、本来緊急事案とされるものが毎年の業務



▲県職労へ期待と発言する達増知事

として発生しているほか、合同庁舎の総合案内の任用終了の意向も示される中で「業務だけは増えても人員が付いてこない」「通常の人員体制がギリギリで緊急事態への対応の際の心身疲弊が大きい」との声も加えて、組合員からの声

【知事】ワークライフバランスの中でも出産・子育てが人生にとって大事なことに、それに向き合ってもらおうとを通じて仕事のパフォーマンスが高まることを期待している。

育児休業取得の際、代わりに働く人の課題があることは承知している。今回から勤労手当で「育児応援加算」を新設し、正規職員、会計年度任用職員の代替職員配置についても取り組んでいきたい。

危機管理事案が普通のことになる中、対応のあり方は不断に見直していかなければならない。普段の働き方も、効率化と働きやすさの好循環をつくっていききたい。

異動内示は、人事担当から職員のきめ細かい事情把握等には時間を要するとも聞いている。他方、近年引越費用が高騰しており、時期も集中するなど新たな課題とも感じる。職員に過度な負担のしかからないよう、人事異動の仕方も工夫していきたい。

【知事】知事に就任して以来、移動県庁や現地会議に取り組んでいる。内丸10、1だけが県の組織ではない。広く県全体が職場であることを私自身、職員の皆さんと共有したいと考えている。実態としてはなかなか現場に顔を出せず、忸怩たる思いがある。努力と工夫を重ねていきたい。

### 2025年度 青年婦人部独自要求書を提出します！

県職労青年婦人部では毎年、青年や女性組合員が健康で安心して働き続けられる職場環境づくりのために賃金改善や適正な人員配置、休暇制度の拡充、人事異動の早期内示等を盛り込んだ独自要求書を作成し、知事あてに提出しています。現在、各支部で要求書作成に係る意見交換会を実施し、2月10日に青年婦人部独自要求書の提出を行います。

### 2026年3月末 退職予定のみなさまへ 支部書記局に 御一報をお願いします！

「県職労総合共済」「自治労共済」「あとおし」等について、退職に伴う手続きが必要となりますので、必ず御連絡をお願いします。

2026年4月から県で「暫定再任用職員」又は「定年前再任用短時間勤務職員」として勤務する場合も、同様に必ず御連絡をお願いします。

### 第五世代

あつという間に2025年が終わり、2026年が始まりました。今年もよろしくお願ひいたします。この内容が読まれる頃は1年で最も寒さが厳しい大寒の時期に入っていると思います。寒さが厳しくなる時期に気を付けたいのが、急激な温度の変化によって血圧が急激に変動し、めまいや立ちくらみを起こす「ヒートショック」です。ヒートショックが発生すると失神や心臓・血管等の疾患を引き起こすと言われており、特に寒さが厳しいこの時期は発生の危険性が高まるとされています。高齢者ほど発生の危険性が高くなると思いがちですが、急激な温度変化による血圧の急激な変動は年齢に関係なく起こりうるため、若い人でも食後・飲酒後の入浴により発生の危険性が高まるとされています。▼発生を防ぐには、食後・飲酒後の入浴を避ける、廊下や脱衣所を含め家の全体を温める、外出の際は防寒をしっかりするなど、急激な温度変化と血圧の急激な変動を防ぐのが効果的とされています。▼年度末に入り業務も多忙を極めていると思いますので、体調管理には気を付け、年度末を無事に乗り切ってください。

# 支部が一丸となって 労働環境の改善を勝ち取る

## 12.18 盛岡支部で定期大会を開催

県職労盛岡支部は12月18日に岩手県公会堂にて、2025盛岡支部定期大会を開催した。

佐藤支部長からは、「働く環境は声に出さないと変わらない。職員衛生委員会や管財課との交渉で改善された点がいくつかある。今後引き続き交渉を行ってほしい」とあいさつ。

当日は代議員27名(本人・委任含め)の参加で菊池書記長から昨年度の経過報告

の忙しさは各所属長からヒアリングし確認している。必要な人員確保は人事課や本庁主管課に働きかけていく。防疫作業についても職員が苦勞しているのは承知しており、非常時には業務調整の必要があると考えている、などの回答があった。

来年度、総合窓口が廃止になることの見解を求めると、局としては必要と考えているが、本庁の判断で廃止となったこと、今後の対応は経営企画部で検討する必要があると回答があり、その他、公舎の老朽化・エアコン設置の問題、直近の地震対応を踏まえ、災害時の勤務時間の課題、本局と支局との業務調整の課題などの意見交換を行い、局長から職場の課題改善に向け、今後とも組合との意見交換を実施していくとの回答を受け、交渉を終了した。

同日、久慈支部独自要求



▲佐藤嘉彦盛岡支部長による団結ガンパローで大会を終えた

最後に佐藤支部長の力強い団結ガンパローで大会を締め切った。

スポーツ交流会では、各チーム内で自己紹介をしたのち、各競技を開始しました。ソフトバレーでは、ボールを繋ぎやすくするためにチーム内で掛け声をかけたり、卓球では、ダブルスを組んで、試合形式で楽しそうにラリーを繋ぎ、スマッシュで得点する様子が見られ、各チームで工夫が見



▲佐々木東北振興局長(中央左)に要求書を手渡す大崎久慈支部長(中央右)、深澤久慈支部副支部長、齋藤二戸支部福祉部長

要求事項について大崎支部長から人員不足の実態や会計年度任用職員が減員による業務のしわ寄せなどにより、忙しさが増していることや、昨年度は豚熱や鳥インフルエンザの防疫作業対応により、業務が回らなかった実態を訴え、久慈支部、二戸支部それぞれ独自の要求内容の説明をした。

佐々木局長からは、業務

# 県北2支部合同要求書提出及び 久慈支部独自要求書提出

2025年11月17日、県北広域振興局管内の久慈支部、二戸支部は組合員アンケートを基に合同要求書を作成し、佐々木東北振興局長あて提出した。

12月22日の回答に併せ久慈支部と二戸支部合同で局長交渉を実施した。

久慈支部から大崎支部長、深澤副支部長、二戸支部から齋藤副支部長が交渉に臨み、要求内容の説明、佐々木局長からの回答に併せ意見交換を実施した。

来年度、総合窓口が廃止になることの見解を求めると、局としては必要と考えているが、本庁の判断で廃止となったこと、今後の対応は経営企画部で検討する必要があると回答があり、その他、公舎の老朽化・エアコン設置の問題、直近の地震対応を踏まえ、災害時の勤務時間の課題、本局と支局との業務調整の課題などの意見交換を行い、局長から職場の課題改善に向け、今後とも組合との意見交換を実施していくとの回答を受け、交渉を終了した。

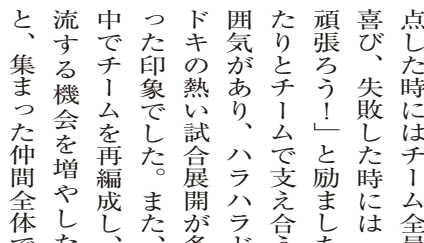
同日、久慈支部独自要求



▲似内経営企画部長(中央右)に要求書を手渡す大崎久慈支部長(中央左)、深澤久慈支部副支部長(左)、琵琶坂執行役員(右)

について、似内副局長兼経営企画部長との交渉を実施し、庁舎施設の改善や冷暖房運用の要望、職員公舎の修繕などについて回答がありました。

自治労女性部では、毎年1~3月を「女性の権利確立運動強化月間」とし、年休・生休アンケートに取り組んできたところです。今年度においても、女性部に結集する組合員一人ひとりが自分の働き方をみつめ、仲間の働き方に気づき、健康で安心して働くことができ職場づくりをすすめていくため、女性組合員を対象に年休・生休アンケートの取り組みを現在実施しています。



▲スポーツ交流参加者集合写真

スポーツ交流会では、各チーム内で自己紹介をしたのち、各競技を開始しました。ソフトバレーでは、ボールを繋ぎやすくするためにチーム内で掛け声をかけたり、卓球では、ダブルスを組んで、試合形式で楽しそうにラリーを繋ぎ、スマッシュで得点する様子が見られ、各チームで工夫が見



▲スポーツ交流参加者集合写真

流れができたと思います。普段の業務上ではなかなか接することの仲間との交流や、今年度新たに組合に加入していただいた仲間もおり、交流する大切さがより身に沁みました。今後も、交流や定期的な学習会を通じて所属を超えた繋がりを深められるよう、継続して取り組んでいきたいと思っております！



▲ソフトバレーボールで交流する参加者

**東北ろうきん** 奨学金借換融資 **ろうきんミライノワ** (未来の箱)

未来を見据えて、今を見直してみましよう!

ご融資金額 **最高2,000万円** 固定金利型 **最長15年**

奨学金の返済でお悩みの方、東北ろうきんにご相談ください。

最高**500万円**まで 奨学金の借換資金に合算してお借入れすることができます。

お使いみち: 自動車等購入費用、教育費用、住宅のリフォーム資金

ご融資金利については店頭のコピー一覧表、または右記二次元コードよりご参照ください

●2025年12月1日から2026年3月31日までに、実行するご融資が対象となりますが、期間中に制度等を変更することがあります。●審査の結果、ご融資できないなど、ご希望に添えない場合があります。●店頭に説明書をご用意しています。詳しくはお近くの東北ろうきん窓口にお問い合わせください。 2025年12月1日現在

### 2026年度 「女性の働く権利確立運動強化月間」の取組み

各支部において紙媒体での回答に加えWEBでの回答も可能となっています。もし、まだ未回答の女性組合員がいる場合は、各支部書記局へ確認または左記のWEB回答の二次元コードより回答をお願いします。

正規職員用  
WEB回答  
二次元コード

会計年度任用  
職員用  
WEB回答  
二次元コード

### 奥州市議選立候補予定者 今野よしふみ

「いつもと変わらない暮らし」のできる地域をめざします!

**ア) 農業・農村を後世に引き継ぎ元氣な暮らしができる地域に!**

- ①収益性の高い農業を進めるため、担い手農家への支援を求めます。
- ②安心して暮らせるよう、若者、中高年の雇用拡大に取り組みます。
- ③最低賃金の引き上げ、就労者の労働時間の短縮に取り組みます。
- ④企業誘致や新たな雇用の場の確保を進めます。
- ⑤市内大学生の奨学金返済の負担軽減を求めます。

**イ) お年寄りや子供たちが安心な暮らしができる地域に!**

- ①高齢者の健康づくり推進を求めます。
- ②訪問看護や通所介護のサービス格差を解消し、拡充を求めます。
- ③子どもと子育て家庭への支援の拡充を求めます。
- ④保育料の軽減、子どもの貧困対策に取り組みます。

**ウ) 地域のみなが安心な暮らしができる地域に!**

- ①物価高騰対策として、生活必需品等にかかる支援を求めます。
- ②地域の資源・特性を生かした地域振興の充実を求めます。
- ③道路、河川など地域の生活基盤の改善を進めます。
- ④水道・食品の安全の確保、地域の環境政策の充実を求めます。
- ⑤中山間地域の鳥獣被害対策を進めます。